

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

紙パルプ事業及びパッケージング・紙加工事業を核として、総てのステークホルダーの支持と信頼に基づいた企業グループの安定的かつ持続的な成長と企業価値の向上を図ること

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオシフト

北米のパルプ事業や欧州の機能材事業への進出、国内では段ボール原紙事業やプラスチック代替素材の開発、セルロースナノファイバー活用など新規事業開拓

3. 組織体制の再編

2025年4月に洋紙営業本部と白板紙営業本部に再編し、品種別販売競争力を強化。サステナビリティ推進本部を新設

2. 競争力強化

環境・コスト・安全の3領域で競争力を強化。JOGMECによるCCS事業化参画、大王製紙との戦略的業務提携による製造・輸送コスト削減、hSA25計画の推進

4. 中期経営計画2026

事業ポートフォリオシフト、コスト・環境・安全の競争力強化、ESG活動推進の3つを基本方針として推進

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 地政学リスクやサプライチェーンの混乱への対応
- ・ デジタル化進展や少子高齢化による需要構造の変化への対応
- ・ エネルギー・原材料価格の高止まり対策

② 環境・気候変動対応

- ・ 2030年度北越グループ環境目標の達成
- ・ 先進的CCS技術による二酸化炭素回収への取り組み

③ 安全と働き方改革

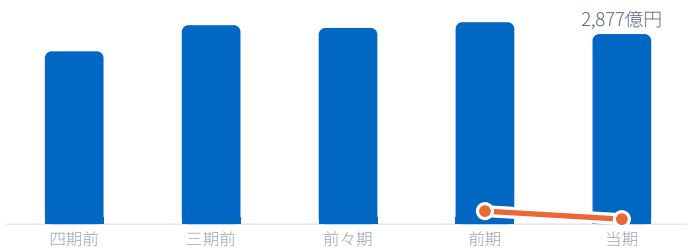
- ・ hSA25計画（2020年度開始、2025年度最終年度）の目標達成

面接で使えるポイント

- ・ Vision 2030のもと、環境経営を基軸とした持続可能な社会への貢献と新たな事業領域への挑戦を同時に追求する企業戦略
- ・ 北米・欧州でのグローバル事業展開と国内での段ボール原紙事業やプラスチック代替素材開発による事業ポートフォリオシフトの加速
- ・ 大王製紙との戦略的業務提携により製造・輸送コスト面で想定を上回る効果を創出する実行力とパートナーシップの価値

証券コード 3865

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,877億円営業利益率
2.6%財務健康度
49点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 52.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
633万円

パルプ・紙内 11位/24社

平均年齢
45.0歳

パルプ・紙内 4位/24社

平均勤続
22.0年

パルプ・紙内 4位/24社

女性管理職
1.2%

パルプ・紙内 20位/21社

男性育休
50.0%

パルプ・紙内 16位/21社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【日本物流大賞】北越コーポレーションなど5社、「モーダルシフ

要するに
パルプ・紙製品の製造・販売を主力事業とする素材
・化学企業

主力事業・セグメント

- ・紙Pulp 93.7%
- ・Packaging・紙Proce 6.3%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,877億円の事業規模
- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・平均勤続22.0年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

